

平成27年度第1学期

科学技術政策特論

第7回講義

交通運輸分野における技術政策

国土交通省海事局 安全政策課長
加藤 光一 氏

加藤先生からのメッセージ

世界初の技術基準は1900年頃に米国において多発する鉄道事故に対処するために出来たようです。その後、映画にもなった有名なタイタニック号事故が発生し、世界初となる安全分野の国際条約である「海上人命安全条約」(SOLAS条約)が出来ました。

技術開発と規制は社会の車の両輪であって、2つがバランス良く運用されない限り、社会はうまく回りません。技術と規制の在り方について、船舶分野を中心に概説・紹介いたします。

日時：

2015年 **5月15日**

金曜日

5 講目 16:30-18:00

場所：

工学研究院

オープンホール

[B-201]

加藤 光一 先生

1983年、東京商船大学商船学部航海学科卒業後、運輸省に入省。船舶検査や海上運輸の安全、国際関係に関する業務を中心に運輸政策に従事。この間、科学技術庁に出向され、原子力技術政策に携わられたり、日本貿易振興会ロンドン・ジャパン・シップセンター次長として海上交通の国際関係業務にも従事されました。最近では国土交通省海事局安全・環境政策課長なども務められ、2013年7月から現職

担当：工学系教育研究センター 教授 渡邊康正
内線：6908

Mail：ceed-int@eng.hokudai.ac.jp